

小倉進平 こくら すすむ 言語學・朝鮮語學者、文學博士。明治十五年六月四日宮城縣仙臺生れ、昭和十九年一月八日歿（八八二—一九四四）。明治二十九年東京帝國大學文學文科大学卒業。四十四年朝鮮總督府に奉職。大正十二年歐米留學、十五年京城帝大法文學部教授、東京帝大教授を兼任。昭和十年帝國學士院恩賜賞受賞。日本に於ける朝鮮語學の基礎を築く。著書に、『國語及朝鮮語のたのび』（大正九年十一月十五日京城・ウツボヤ書籍店）、『夏期日本文化講座講演集』（合著、昭和十四年六月二十日國際學友會）、『朝鮮語方言の研究』全二冊（上卷・昭和十九年六月十五日、下卷・九月十五日岩波書店）等。